

### みずほCustomer Desk Report 2022/07/28号 (As of 2022/07/27)

市場営業部 為替営業第二チーム

#### 【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	137.01
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	136.96	1.0129	138.70	1.2040	0.6946
SYD-NY High	137.45	1.0221	139.50	1.2187	0.7012
SYD-NY Low	136.35	1.0097	138.44	1.2021	0.6912
NY 5:00 PM	136.61	1.0199	139.33	1.2158	0.6994
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	32,197.59	436.05	日本2年債	▲0.0800%	0.0000%
NASDAQ	12,032.42	469.85	日本10年債	0.2000%	0.0000%
S&P	4,023.61	102.56	米国2年債	2.9807%	▲0.0772%
日経平均	27,715.75	60.54	米国5年債	2.8353%	▲0.0641%
TOPIX	1,945.75	2.58	米国10年債	2.7840%	▲0.0183%
シカゴ日経先物	28,045.00	600.00	独10年債	0.9355%	0.0095%
ロンドンFT	7,348.23	41.95	英10年債	1.9545%	0.0385%
DAX	13,166.38	69.45	豪10年債	3.2950%	▲0.0840%
ハンセン指数	20,670.04	▲235.84	USDJPY 1M Vol	9.85%	▲0.49%
上海総合	3,275.76	▲1.68	USDJPY 3M Vol	10.34%	▲0.12%
NY金	1,719.10	1.40	USDJPY 6M Vol	10.39%	▲0.07%
WTI	97.26	2.28	USDJPY 1M 25RR	▲0.84%	Yen Call Over
CRB指数	289.08	2.58	EURJPY 3M Vol	12.57%	▲0.24%
ドルインデックス	106.45	▲0.74	EURJPY 6M Vol	12.39%	▲0.27%

#### 【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月27日	21:30	米 卸売在庫(前月比)・速報	6月 1.9%	1.5%
	21:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	6月 1.9%	-0.4%
	21:30	米 耐久財受注(除輸送用機器)・速報	6月 0.3%	0.2%
7月28日	23:00	米 中古住宅販売仮契約(前月比)	6月 -8.6%	-1.0%
	03:00	米 FOMC政策金利(上限)	27-Jul 2.5%	2.5%
	03:00	米 FOMC政策金利(下限)	27-Jul 2.3%	2.3%
	03:30	米 パウエルFRB議長	「更なる異例な大幅の利上げはデータ次第」	

#### 【本日の予定】

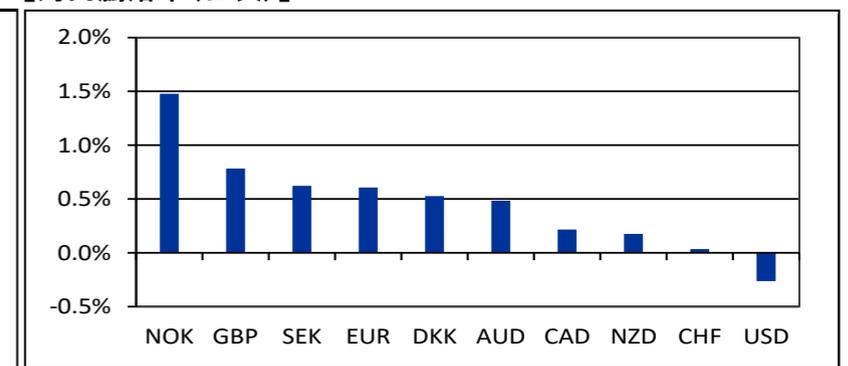
Date	Time	Event	予想	前回
7月28日	10:30	豪 小売売上高(前月比)	6月 0.5%	0.9%
	18:00	欧 鉱工業信頼感指数	7月 5.4	7.4
18:00	欧 サービス業信頼感指数	7月 13.3	14.8	
	18:00	欧 消費者信頼感・確報	7月 -	-27
21:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	7月 0.6%/7.4%	0.1%/7.6%	
21:30	米 GDP(年率/前期比)	2Q A 0.5%	-1.6%	
21:30	米 個人消費	2Q A 1.2%	1.8%	
21:30	米 コアPCE(前期比)	2Q A 4.4%	5.2%	
21:30	米 新規失業保険申請件数	23-Jul 250k	251k	

東京	東京時間のドル円は136.96レベルでオープン。序盤は月末実需のドル買いにサポートされ、仲値にかけては137.15まで上昇した。買い一巡後は、米国時間のFOMCを控え、136円後半の狭いレンジで方向感無く推移し、136.87レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は、136.87レベルでオープン。米FOMC前に方向感のない推移。朝方137.05まで上昇する場面もあったが下げに転じると136.53付近まで売られるが、結局136.76レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	ニューヨーク時間のドル円は136.76レベルでオープン。朝方は米6月耐久財受注が予想を上回ったことから137.00まで戻す。続いて発表の米6月中古住宅販売仮契約が予想以上に悪化し、前回分も下方修正されたものの、ドル円の反応は限定的となるが、FOMC結果発表を午後控え徐々にドルが買い戻される展開にドル円は137.42まで戻す。注目のFOMCでは予想通り75bpの利上げが発表され確実視はされていたものの100bpを期待する向きのドル売りに136.85まで反落する。その後開始されたパウエル議長の記者会見では冒頭にインフレを抑制することに強くコミットとの発言があり、金利が上昇に転じる展開にドル円は137.45まで急伸する。今週の米紙の記事通り金利の動きについては明確なガイダンスを提供しなくなっていくことが明らかになり、フォワードガイダンスが機能しないことが指摘され、これを受けた大きな反応はなかったものの、FFレートを年末までに3~3.5%に引き上げるだろうとの発言を受け、市場では既に3.5%までの利上げは織り込み済みであることからハト派ととられ米金利が反転急落する展開に136.35まで下落する。その後はイベントを通過したことから136.50付近での推移が続き、136.61レベルでクローズした。一方、ユーロドルは1.0151レベルでオープン。朝方はEUがガスの使用量を来年の3月まで15%削減することが合意され欧州のGDP低下が意識される中、ドルが買い戻される展開に1.0097まで下落する。午後はFOMC結果を受け上下するものの、パウエル議長の記者会見がハト派と取られドル売りにユーロドルは1.0221まで戻す。終盤に掛けては1.0200付近での取引が続き、1.0199レベルでクローズした。

#### 【ドル円相場】



#### 【対円騰落率(日次)】



#### 【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	136.00-137.10	1.0080-1.0300	138.40-139.50

#### 【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は、FOMCの結果を受けて下落した。東京時間は136.96レベルでオープン。東京時間、欧州時間と月末絡みの調整はあったものの、FOMCを前に概ね方向感無く推移。米国時間に入ると米6月耐久財受注が予想を上回ったことからドルが買い戻され、137.45まで戻した。FOMCでは市場予想通り75bpの利上げを決定。パウエル議長は、景気減速の兆候は見られるものの断続的な利上げは適切との認識を示した。また、次回9月会合でも大幅利上げを示唆したがそれは今後のデータに左右されるとしたことでハト派発言と受け止められ、136.35まで急落。その後、136.61レベルでクローズした。本日のドル円は、上値の重い展開を予想する。昨日のFOMCでは今後の利上げペースを緩める可能性が示唆された。本日発表の米2QGDPで景気減速が示されれば、利上げペース鈍化の見方が強まる可能性もあろう。本日のドル円は下値を警戒すべき状況か。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:西・逸見